

ハーモニー

日本養護教諭教育学会通信
第20号 1999年5月22日発行

日本養護教諭教育学会

事務局：〒448-0001 刈谷市井ヶ谷町広沢1
愛知教育大学養護教育教室 堀内研究室内
TEL (0566) 26 - 2491 (FAX 兼用)
振替口座：00880 - 8 - 86414

目 次

第7回 学術集会開催案内（第2報）	1
第7回 学術集会へのお誘い	2
研究班からの活動報告	3
学びや紹介 ～北から南から～	4
ホットニュース	5
理事会等の活動報告	8
事務局だより	9

日本養護教諭教育学会第7回学術集会（岡山集会）開催案内（第2報）

日本養護教諭教育学会第7回学術集会在下記の要領で開催されます。多くの方々の参加を期待しております。

☆期日：1999年9月5日（日曜日）10:00-17:00

☆会場：岡山国際交流センター（岡山市奉還町2-2-1）

☆メインテーマ：養護教諭とカウンセリング

☆内容：

1) シンポジウム

テーマ 養護教諭のおこなう健康相談

座長 石原昌江（岡山大学）

相談活動に必要な養護教諭の能力

小原充子（岡山県立総社高校）

養護教諭とスクールカウンセラーの連携

西部美志（大阪府スクールカウンセラー）

管理職としていかに養護教諭を支援するか

劔持雅久（倉敷市立新田中学校）

健康相談教育の試みとその課題

森田光子（女子栄養大学）

2) 特別講演 学校カウンセリングと養護教諭

講師 小林重雄（吉備国際大学教授）

3) 研究発表

A；学会共同研究班の発表

「養護教諭の研究能力」

代表 天野敦子（愛知教育大学）

「相談に関わる養護教諭の力量形成」

代表 森田光子（女子栄養大学）

B；一般発表

教育研究機関の関係者及び養護教諭からの研究発表を募集します。テーマは養護教諭教育に関するもので、養成教育・現職教育に関するもの、研修・研究に関するもの、相談活動に関するものなどを特に要望します。研究発表希望者は、演題と内容要旨（200字程度）を下記へ送付して下さい。なお発表者は会員に限りますから、会員でない希望者は入会して下さい。

☆一般発表演題申し込み締め切り 1999年7月1日（木）当日消印有効

☆抄録集原稿締切 1999年7月31日（土）当日消印有効

☆研究発表及び参加を希望する方は、年次学会事務局まで申し込んで下さい。

学会参加費；会員 2500円、非会員 3500円、学生 1500円、抄録集のみ 1000円。

郵便振替口座番号：01380-3-60014（第7回日本養護教諭教育学会）

☆第7回学術集会についての問い合わせ先

第7回日本養護教諭教育学会 事務局（実行委員長 中桐佐智子）

〒716-8508 岡山県高梁市伊賀町8 吉備国際大学保健科学部

中桐研究室（担当中桐、門田） TEL 0866-22-9454（代） FAX 0866-22-7560

☆参加申し込みはなるべく8月20日までにして下さい。（当日参加可能）

第7回養護教諭教育学会に 参加のお誘い

実行委員長 中桐佐智子(吉備国際大学)

第7回養護教諭教育学会を岡山市にて開催します。残暑の残る9月5日の開催ですが、参加者の便利を考えて、岡山駅に徒歩5分という地の利の良い場所に設定しました。

この岡山県立の国際交流センターは最新の設備を備えており、快適な環境の中で研究成果は大いに上がると期待しています。大学の研究者・教育者、及び現場の養護教諭等の多数の参加を期待しています。

第7回養護教諭教育学会のメインテーマとして、「養護教諭とカウンセリング」を設定しました。

近年、児童生徒を取り巻く社会は大きく変化し、不登校、いじめ、校内暴力等学校教育を巡る諸問題が深刻な状態にあります。平成8年に中央教育審議会の答申において、心の健康問題等への対応策の一つとして、養護教諭の養成、及び現職研修の充実の必要性について提言がなされました。さらに、平成9年には25年ぶりに保健体育審議会の答申が出され、「養護教諭の新たな役割」と、「求められる資質」及び「資質の向上方策」が提言されました。

この中で養護教諭の新たな役割の一つとして、カウンセリング機能の充実があげられています。さらに具体的に養護教諭は、児童生徒の身体不調の背景に、いじめなどの心の問題が関わっていることのサインをいち早く気づく立場にあり養護教諭の行うヘルスカウン

セリング(健康相談活動)が一層重要な役割を持ってきていると述べられています。

この役割を果たすために求められている資質として、①保健室を訪れた児童生徒に接したときに必要な「心の健康問題と身体状況」に関する知識理解やこれらの観察の仕方や受け止めかた等についての確かな判断力と対応力(カウンセリング能力)、②健康に関する現代的課題の解決のために、情報を収集し、健康課題を捉える力量や解決のための指導力が必要であると指摘しています。これらの養護教諭の資質については、いじめ等の心の健康問題等への対応の観点から、かなりの専門的な知識・技能が求められ、その向上を図るためには今後養成課程、現職研修を含めた一貫した向上の方策が必要であると述べられています。

このような時代の要請に応えるべく、「養護教諭とカウンセリング」を中心に今回の学術集会を企画しました。シンポジウムでは、養護教諭の健康相談活動に対して、養護教諭や校長、学校カウンセラー、養成側から、実態報告と問題と提起していただき、参加者と共に考えていきたいと思っています。

そして特別講演は、「学校カウンセリングと養護教諭」のテーマで心理学界の重鎮の木村重雄教授がお話しされます。木村先生は3月まで筑波大学に勤務していましたが、4月から吉備国際大学にお迎えしました縁で、お引き受けいただきました。

最後になりましたが、一般発表に多数応募していただきたいと願って、会議室を複数確保しました。大小部屋は様々ですが、分野別に同時進行して困ったと、悲鳴を上げるくらい発表者が増えるといいなと期待しています。

研究班からの活動報告

「相談にかかわる 養護教諭の力量形成」

研究班代表 森田光子 (女子栄養大学)

共同研究班がスタートしてあっという間に2年の研究期間が終了しました。スタート当初から、およそ1か月1回のペースで開いた会合は九州、愛知など遠くのメンバーを加え19回に達し、相互理解も深まっています。

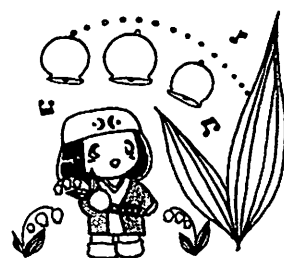
スタート当初の計画では、1年次は「相談にかかわる養護教諭の力量」を、2年次は「力量形成の方法」を明らかにするという目標を立てていました。そして2年目終了の今頃は、どこかでささやかな打ち上げ・・・をと考えていたのです。

こんな次第ですから、研究班としての学会報告に、どれぐらい時間がかかるかなどは、計算の外というわけでした。ところが9月の学会報告のあと、11月の学会誌への報告となってはたと自分の甘さに気づいたのです。

そこで当然のことながら1999年のお正月は、研究班メンバーの間で、夜半までファックスが飛びかう有様となり、編集委員会に多大のご迷惑をかけてしまいました。これはひとえに責任者である私の力量不足で、力量形成は、まず私自身の問題であったと反省しています。

1年次の研究報告を終えて私たちは今、2年次研究の「力量形成の方法」に向け、論議を深めようとしています。教養審で「健康相談活動の理論と方法」の教科目が新設され、あらためてどのようにして力量を形成するかが、養成教育の課題となりました。

「相談にかかわる力量」は、一人の人間としての考え方、生き方などと深くかかわり、養成教育でどこまで力量がつけられるか、どのような方法が有効か、測り難いむつかしさがあります。途方もないテーマを提案してしまっただけなのに、メンバー一同協力して少しづつ歩をすすめています。6月ごろ、もう一度アンケート調査をお願いする予定です。どうぞご協力のほどよろしく願いいたします。



「養護教諭の研究能力」

研究班代表 天野敦子 (愛知教育大学)

「養護教諭の研究能力」の研究班では、これまでに全体会合を下記のように4回開き、5回目も計画しています。

第1回 1998.3.27 名古屋市

第2回 7.11 名古屋市

第3回 10.24 茨城大学

第4回 1999.3.21,22 愛知県半田市

第5回 6.14 名古屋市 (予定)

さらに、この間にグループごとの集まりを数回ずつ持ち、グループ代表を中心に精力的に研究活動に取り組んでいます。

養成機関の教員と現職養護教諭がじっくりと話し合い、実り多い研究が出来ていること

を研究班代表としては大変うれしく思っています。始めは 28 人という大所帯でどうなるかと心配していましたが、3つのグループに分かれて、グループごとに皆さんが生き生きとそれぞれの能力を発揮しながら参加していますので、効率のよい研究ができていると思います。また、第4回の宿泊研究会では、新美南吉記念館や酢の博物館の見学を企画し、楽しみながら研究活動をすすめています。

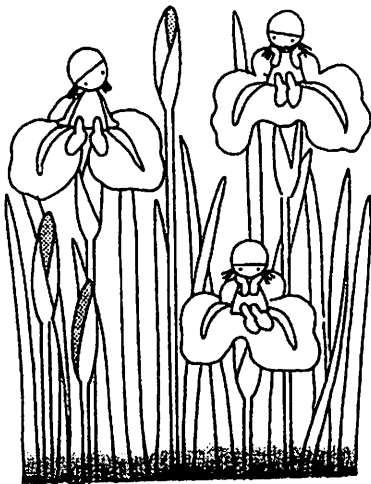
次に、現在の進行状況について述べます。

Aグループは、研究者の属する県の現職養護教諭を対象に養護教諭の研究に関する質問紙調査を行い、集計・分析中です。

Bグループは、養護教諭に独自の研究はあるのかという視点に立って、研究に関する各種の文献を参考に討議を繰り返しながら検討し、構造化に向けて検討中です。

Cグループは、関連学会誌および養護教諭が研究発表する大会誌に掲載された養護教諭が発表した研究を整理し、分析しています。

第7回学術集会には4題の発表を予定していますので、多数の皆様にご参加いただき討論を深めていただきたいと思います。



学びや紹介

～北から～

看護婦(士)を基礎資格 としての養護教諭養成

新井猛浩(山形大学教育学部)

山形大学小白川キャンパスは山形市の東部にあり、蔵王連峰のまさにお膝元です。春先のよく晴れた日には、西の空にぼっかりと浮かぶ真っ白な月山がとても綺麗に望めます。

本学養護教諭特別別科は、この小白川キャンパスにある教育学部がその運営を行っています。養護専門科目は勿論、教育学部教官により開講される授業(主に教職科目)を多数履修して学生たちは巣立っていきます。

さて、1年間という短い期間ですが、学生たちは意欲的に学習に取り組み、養護教諭としての資質を身につけていきます。

本学では観察実習と称して、入学後まもなく附属学校園へ学生が出向き、子どもたちと触れあう機会が設けられています。養教別科の学生も4月下旬から6月下旬にかけて各学校へ出かけます。さらに、9月には4週間の養護実習に出かけます。

厳しい教員採用状況から教職をあきらめる人も少なくありませんが、子どもたちとのかわりを糧に多くの学生が頑張っています。

～南から～

力量ある養護教諭の 育成をめざして

山根允子（湊川女子短期大学）

私達の湊川女子短期大学は、今年で創立 80 周年を迎えました。歴史は古く、大正 8 年に神戸市の湊川神社のそばで裁縫女塾として創設されました。水害や火災、戦災に合い、昭和 23 年に現在の三田市相野の地に移設されました。昭和 27 年に湊川家政短期大学として認可になり、昭和 33 年に湊川女子短期大学と改名されました。現在家政学科は、生活情報、養護教諭、食物栄養の 3 つのコース（衣料管理士、情報処理士、栄養士、養護教諭 2 種の育成）に分かれ、児童教育学科は初等教育専攻、幼児教育専攻があり、保育士、幼稚園教諭（2 種）、小学校教諭（2 種）の育成が行われている。豊かな知性と感性を磨き、社会の各分野で活躍出来る人材の育成を図っています。大学は多くの苦難に対して“不撓不屈”の精神で耐え乗り越えて来ました。その精神は卒業生へ、学生へと受け継がれています。

養護教諭の養成は昭和 44 年に課程認可を受けてから家政学科生活科学専攻養護教諭コースとして（2 種）現在に至っています。この間多くの卒業生を出し、全国各地の学校現場で情熱を持って活躍しています。その姿を目にしたたり、耳にして、指導に当たるスタッフの一人として誇りに思います。18 才人口の減少、女子の四年制大学志向、経済の不安定さの波は我短大も例外ではありません。短大の持つ教育の意味を再考し変革する必要に迫

ままれています。同時に社会は養護教諭に大きな期待をかけ、力量ある養護教諭を必要としています。養護教諭の育成は学内の教員や大学の環境だけでは不可能です。現場の養護教諭の方々のご指導やご協力、児童、生徒達との触れ合いを抜きにはあり得ません。学生にとっては現場の養護教諭の方々は憧れであり、理想であり、夢でもあります。いつまでも輝いて欲しいと思っています。学生一人一人との人間関係を大切に、一人一人の学生自身の自立と成長を軸にして、限ぎられた時間や環境の中ではありますが、力いっぱい努力して頑張りたいと思っています。



ホットニュース

養護教諭専修免許状のための公開講座

1. 受講対象

養護教諭 1 種免許状を所有し 3 年以上の教職経験を有するもの（国立または県立養護教諭養成所卒業者、養護教員養成課程（1 年課程）修了者等を優先）

2. 会場 愛知教育大学

3. 受講定員 各講座 60 名

4. 講座テーマ、授与単位、講師、開講日程及び申込期間

- (1)保健医科学特論Ⅱ〔1 単位〕渡邊貢次
開講日：7 月 28 日（水）～7 月 30 日（金）
申込期間：5 月 28 日～7 月 2 日（必着）
- (2)学校保健運営組織特論〔1 単位〕野村和雄
開講日：8 月 21 日（土）～8 月 23 日（月）

申込期間：6月21日～7月30日（必着）

(3)学校保健運営組織特論〔1単位〕野村和雄

開講日：12月23日（木）～12月25日（土）

申込期間：10月25日～11月30日（必着）

(4)養護教諭論特論〔1単位〕堀内久美子

開講日：12月24日（金）～12月26日（日）

申込期間：同上

6. 受講料 1講座6500円

7. 申込方法

往復葉書に必要事項を記入し郵送する。申込者が定員を超えた場合、出身養成機関、教職経験年数、これまでの単位修得状況等を勘案した上で抽選により受講予定者を決定し通知する。受講手続きは各講座開講初日の約2週間前までに。

8. 問合せ先

愛知教育大学庶務課公開講座担当

〒448-8542 刈谷市井ヶ谷町広沢1

TEL (0566) 26-2115,2116

FAX (0566) 26-2110

☆北海道教育大学札幌校でも養護教諭専修免許状取得のための公開講座を開設する予定です。

愛知教育大学公開講座

**「養護教諭専修免許状のための
免許法認定講座」を受講して！**

小笠原紀代子（筑波大学附属豊学校）

養護教諭1種免許状を所有し、3年以上の教職経験を有する養護教諭専修免許状取得希望者を対象とした免許法認定公開講座が、この冬休みに愛知教育大学で2単位開講されることを本欄で知りました。受講希望者が殺到したとのことでしたが、約70名が運良く受

講させていただくことができました。

12月24日～26日は、堀内久美子教授による「養護教諭論特論」が開講されました。「養護教諭の今日的課題」「養護教諭による研究の動向」「研究と実践の結びつき」等12種類の配布資料があり、2年間を要する修士課程1/6を凝縮したかのような充実した講義をいただきました。最終日は、講義に続いて10名程度のグループで班別討議をし、討議の後は全体会で班別討議の骨子の発表というように、終始「研究」という視点を中心に据えた展開をされたという感を強く持ちました。

日常の執務を評価する際に、この研究的視点が不可欠であるということ、再確認した次第です。

1月5日～7日は佐藤和子教授による「学校栄養学特論」が開講されました。「日本食品成分表について」「食事評価法について」「栄養教育の文献について」等の資料が配布され、「福井医科大学開発の食生活診断表」については、各自が回答した結果をコンピュータに入力したものをプリントアウトしていただき、説明をいただきました。

日本食品成分表は、児童・生徒の指導に係わって、比較的親しんで使用していたつもりでしたが、講義を受けていて、重要な部分を省略して見ていることに気がきました。

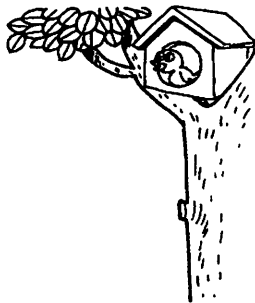
両講座ともレポートの提出を課せられましたが、レポート作成の過程で講義内容と自身の認識の程度を確認できたことは、一挙両得の感がありました。

また、仕事の締めくくりの時期に入っている私にとっては、自身の仕事の評価と纏めに向けて、大変意義深い機会でした。

この講座を開講するに当たっては愛知教育大学の関係者の方々が並々ならぬご尽力をく

くださったことを、また、受講者のために多くの時間と知的財産を提供してくださった講師の先生方に、深く感謝申し上げます。

なお、多くの受講希望者のために、各大学においても、同種の公開講座の開講に向けて、ご尽力をくださいますよう、お願いしたいと思います。



特殊教育百二十年記念教育功労賞

～受賞の戸惑いと喜び～

吉田瑠美子（北海道教育大学）

この度はからずも文部大臣から教育功労賞を頂くことになり、昨年12月9日に東京日比谷公会堂で行われた表彰式に出席して参りました。

この表彰は、我が国最初の公立障害児学校である京都盲聾院が明治11年に開設されて以来、120年の歳月と共に、現在では全ての障害児が等しく教育を受けられるようになった義務化の実現や国連ユネスコ児童の権利条約の批准、障害者プラン等、教育及び福祉の面で大きな進展があったことを記念して行われました。記念式典には皇太子同妃殿下をお迎えし、1500人の教育関係者が見守る中、667名が表彰されました。

大学を通してこの賞の話が私にあったのは昨年8月のことでした。賞といえば小学生の

頃絵で一等賞をもらったこと、中学生では弁論大会で入賞したこと位で最近では年末大売出しでたまたま賞が当たるのがせいぜいで、宝くじにも見離され、賞とはとんと縁が無く、また考えたこともありませんでした。

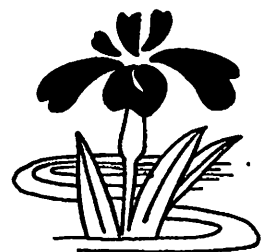
それが「教育功労賞」ですから、どうひいき目に考えても私には身に余るものであり、喜びよりも戸惑いの気持ちのほうが大きかったように思います。

私が特殊教育において同僚に勝るものがあるとするれば、唯一障害児と共に過ごした23年間の歳月でしょう。確かに一日一日を子どもたちが元気に、そしてたくましく成長してくれることを願いながら、自己の役割を真面目に果たしてきたという自負はありますが、これは誰にでも言えることで、私だけが受ける賞ではないという思いでした。

しかし「何も目立つ業績をあげなくても永年地道に頑張ってきたこと自体に意味がある」という言葉を頂き、有り難く頂戴することにいたしました。

これも推薦いただいた関係各位の温かいご配慮と永年に亘り多くの方々からのご指導、ご支援があったからこそと感謝しております。

子どもたちの心身の健康問題が浮彫りにされる中、文部省からは相次いで教育に関する答申が出され、養護教諭の果たす役割の重要性が挙げられています。今後とも現場の養護教諭として、また養護教諭養成に携わる大学教官として精一杯励みたいと思います。



理事会等の活動報告

理事会等の活動は次の通りです。

(1998年10月以後)

☆理事会

1. 1998年度第3回

日時：1998年10月23日(金) 20:00～22:00

場所：茨城大学教育学部 大谷研究室

出席者：理事7名、吉田会計監査

内容：第6回学術集会準備、第7回総会議案提案事項(研究助成対象の選考基準及び選考、推薦委員選出、1997年度決算・監査報告、1998年度補正予算、1999年度予算、第7回学術集会担当者)ほか

2. 1998年度第4回

日時：1998年11月14日(土) 14:30～16:00

場所：大阪市立新庄小学校

出席者：理事6名

内容：「養護教諭の複数配置に関する要望」の取扱い、第6回学術集会の総括、第7回学術集会準備ほか

3. 1998年度第5回

日時：1999年2月13日(土) 11:00～12:30

場所：大阪市立新庄小学校

出席者：理事6名

内容：前回の3件及び1999年度活動計画

4. 1999年度第1回

日時：1999年4月24日(土) 13:00～16:00

場所：たかつガーデン(大阪府教育会館)

出席者：理事7名

内容：「養護教諭の複数配置に関する要望」の取扱い、編集委員長の交代ほか

☆編集委員会

1. 1999年度第2回

日時：1998年10月24日(土) 11:00～14:30

場所：茨城大学茨苑会館

出席者：編集委員10名

内容：学会誌第2巻第1号の企画・編集(特集テーマ、発行までの作業日程等)、「ハーモニー」発行準備ほか

2. 1999年度第3回

日時：1998年11月14日(土) 14:30～16:00

場所：大阪市立新庄小学校

出席者：編集委員9名

内容：学会誌第2巻第1号の企画・編集(掲載順序、査読者等)、「ハーモニー」20号の企画ほか

3. 1998年度第4回

日時：1999年2月13日(土) 13:00～17:00

場所：大阪市立新庄小学校

出席者：編集委員9名

内容：学会誌第2巻第1号の編集(査読結果、投稿原稿の採用可否、校正、日程等)、「ハーモニー」20号、21号の企画ほか

4. 1999年度第1回

日時：1999年4月24日(土) 11:20～12:30

場所：たかつガーデン(大阪府教育会館)

出席者：編集委員10名

内容：学会誌第2巻第1号の活動総括、「ハーモニー」20号掲載内容、21号企画

☆第6回学術集会実行委員会

1998年3月5日、5月26日、6月4日、7月16日、9月14日、10月13日の6回開催 実行委員14名

☆第7回学術集会実行委員会

1998年9月28日、1999年1月14日、2月23日、3月17日の4回開催 実行委員5名(今後増員予定)

☆推進委員会

1. 1998年度第1回

日時：1998年11月22日(日) 11:50～13:00

場所：筑波大学大学会館

出席者：推薦委員3名

内容：委員長選出、役員推薦手順

2. 1998年度第2回

日時：1999年3月21日(日) 10:30～13:00

場所：ホテルアソシア名古屋ターミナル

出席者：推薦委員4名

内容：役員推薦手順、役員候補者名簿作成準備

※今後の会議予定

1. 1999年度第2回理事会

期日：1999年8月1日(日)

場所：名古屋市

内容：養護教諭の複数配置に関する要望原案、
第8回総会議案ほか

2. 1999年度第2回編集委員会

期日・場所は理事会と同じ

内容：学会誌第3巻第1号の編集方針、「ハー
モニー」21号掲載内容ほか

「養護教諭の複数配置に関する
要望」への御意見を募ります

第6回学術集会2日目(1998年10月
25日)、課題研究発表の討議の際に「養
護教諭の複数配置に関する要望書を学会
として出してほしい」旨の発言があり、
取扱い方法を含めて理事会で検討してい
ます。要望書の内容その他について御意
見をお持ちの方は、6月15日までに事
務局あてに文書(FAX可)でお寄せくだ
さい。御意見の取扱いは理事会で決めさ
せていただきます。

事務局から

☆会員名簿の追加・訂正をお願いします。

(1)新入会(1999.4.12現在)

会員番号304 桐山久子(石川県立金沢錦丘
高等学校)

連絡先…〒921-8151 金沢市窪6-218
石川県立金沢錦丘高等学校
TEL (076) 241-8341

会員番号305 盛加代子(金沢大学附属高等
学校)

連絡先…〒921-8105 金沢市平和町1-1-15
金沢大学附属高等学校
TEL (076) 226-2154

(2)訂正および所属変更

p.2 192 遠藤巴子…連絡先の電話番号変更
TEL 019-694-2266

77 河原詳子…字句訂正 川原詳子

p.3 73 津内口恵子…連絡先変更
(自)〒030-0852 青森市大野片岡45-15
TEL 0177-74-4579

p.4 196 浅野純美…所属変更
所属先 目黒区立原町小学校
9 小笠原紀代子…連絡先の電話番号
変更 TEL 047-371-4528

p.5 99 竹崎登喜江…所属・連絡先変更
所属先 鹿児島純心女子大学
連絡先 〒895-0011 河内市天辰町
2365 鹿児島純心女子大学
TEL 0996-23-5311

p.6 260 野本英子…電話番号の訂正
03-3482-2369→03-3482-2367

265 村山貴子…所属変更
土浦市立大岩田小学校

p.8 197 戸田喜美子…所属の訂正
金沢梅丘高等学校→
金沢桜丘高等学校

p.13 13 中桐佐智子…電話番号の訂正
0886-22-9454→0866-22-9454

p.14 184 妻鳥和恵…所属変更
九州女子短期大学

会員数は255名です(1999.4.12現在)

☆所属・連絡先等に変更のある方は早めに、
事務局まで書面にてご連絡下さい。

**** 編集後記 ****

ハーモニー第20号をお届け致します。第
7回学術集会の準備が、中桐実行委員長のも
と着々と進められております。実りある学術
集会となりますことを願い、一人でも多くの
会員の皆様と岡山で学び合えることを楽しみ
にしております。

ご多忙中、本号にご寄稿下さいました方々
に感謝致します。(大道)